令和７年度　学校関係者評価

監事報告による評価：2 名
在園児保護者 10 名
（令和 8 年 3 月 4 日）

１．　園が自己評価で設定した目標や計画は適当であったか。
豊かな人を育てるための教育「感應の心」「生きるちから」を育む指導については、園全体で取り組み、入園から就学前教育までを意識した「教育課程」を保護者に周知するため教育懇談会や日頃の保育の報告などを行うことで、本園の教育に理解を頂くことができた。

２．　評価結果の内容は適切であったか。
幼稚園に対する社会的ニーズの変化を踏まえた戦略の再構築も必要である。未就園児獲得の為、地域子育て支援の充実など、保護者や現場の先生方のリアルな意見や要望を整理しながら、今後のあるべき姿を自由闊達な意見交換の中で検討してほしい。

３．　今後取り組むべき課題は適切に設定されているか。
園児募集強化のため、コンサルタント会社、家庭の在り方、多様性の許容などをベースに夫婦共に就労する家庭にも寄り添いながらも、幼児教育の基本を大切にしていることを理解した。

４．　研修への取り組み
園内研修（中野区私立幼稚園研究部会)、園外研修共に多くの研修を行ったことで、「保育（教育）の質」「保育者の質」さらには「園児の質」の高さに結びついていると考える。今後も研修の時間を確保し、研鑽に務め、更なる教育の向上に期待する。